

令和7年度第2回山城地方学力向上対策会議を開催しました！

令和7年度第2回山城地方学力向上対策会議を開催し、「今年度の学力向上に関する重点的な課題と取組」等についての協議や、山城地方学力向上の取組についての確認を行いました。

- 1 日 時 令和7年 6 月 26 日(木)午後3時から同4時 45 分まで
- 2 場 所 京都府田辺総合庁舎 講堂
- 3 出 席 者 山城地方学力向上対策会議員 23 名

共有したこと

○「山城地方教育実践フォーラム」について

11月14日に開催予定の「山城地方教育実践フォーラム」について、公開授業校の授業参観の報告等、現在の進捗状況を報告しました。

今後、城陽市教育委員会、城陽市立城陽中学校、城陽市立久津川小学校と連携しながら授業づくりを進めていくことを確認しました。



○「学力向上を目指す教育実践事例集第34集」について

各市町（広域連合）教育委員会から推薦していただいた「学力向上を目指す教育実践事例集 第34集」に実践を掲載する小・中学校について確認しました。

一昨年度よりデータでの発行となりましたができるだけ早く発行し、各校の実践に御活用いただけるように、昨年度は一月中の発行を行いました。今年度もそのような計画で順次進めていくことを確認しました。

交流・協議したこと

○「今年度の学力向上に関する重点的な課題と取組」について

5グループに分かれ、各教育委員会・各学校の取組について、学力向上対策会議の授業改善の3つの視点で整理をしながら交流・協議をおこない、以下のような取組が挙げられました。

教育委員会	学校
①学習指導と生徒指導の一体化の視点	
・非認知能力を高めるための国研の指定事業 ・心の健康観察の導入 等	・生徒指導実践上の4つの視点を意識した授業づくり ・学習規律の確認・共有 ・学級活動、特別活動とつなげる 等
②主体的な学びとなる単元構想・授業づくりの視点	
・学習コンクールの実施・校内研修参加や授業づくり支援 ・学校力向上トライアル事業、授業力向上アドバイザーの活用 ・学校運営への児童生徒の参画（児童会・生徒会の協働） ・教員が自分で選んで参加できる研修の設定（人材育成） 等	・主体的な学びの姿について教職員の共通理解、研修 ・探究的な学び、課題解決型の学習 ・自己調整、目標に向かって取り組む姿勢を育む授業づくり 等
③個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点	
・学力テスト分析・AIドリル等、ICTの利活用 ・学びの土台事業（コグトレオンライン）・英検 ・個別最適な学び・協働的な学びの視点の授業改善の研修 等	・一人学び（自力解決）と学び合いの時間の設定 ・ICTの効果的な活用の検証 ・基礎・基本の定着に向けた取組 等



各取組の中には、子どもに関すること、教員に関することがありましたが、3つの視点で見ると「子どもの学びと教員の学びは相似」であることが見えてきました。

子どもたちの学力向上を目指すためには、教員の主体的な学び・対話的な学びから深い学び（質の高い授業改善）を進めていくことが大切であり、その視点をもってそれぞれの強みを生かし、各学校や教育委員会での取組を推進していくことがよいのではないかとというまとめとなりました。

